

出石
城下町伝建
かわら版

平成 26 年 7 月 10 日 発行 編集 / 豊岡市・豊岡市教育委員会 (出石支所 : TEL0796-52-3111)

— 先進地視察研修 —
奈良時代からの港町、室津
川座敷の土蔵群が美しい、平福

本市、出石まちなみ保存会、出石まちなみ設計士会の共催で、3月7日、先進地視察研修を行いました。行き先は、ともに兵庫県内の室津（むろつ）地区及び平福（ひらふく）地区です。総勢20名で伺いました。

室津と平福はともに伝建地区ではありませんが、歴史的な風情と住民の方の保存にかける熱意は、ともに伝建地区に勝るとも劣らぬすばらしいものでした。

また、平福では地域づくりセンターについても教示いただきました。



【室津地区】兵庫県たつの市御津町室津

奈良時代に行基法師により整備された、1300年の歴史を持つ港町。江戸時代の参勤交代では、西国大名のほとんどが船を室津に着け、ここから陸路江戸に向かったことから宿場町としても栄えました。現在も古い町並みを残すとともに、旧跡を示した石柱が歴史の面影を伝えています。

【平福地区】兵庫県佐用郡佐用町平福

今年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」ゆかりの利神城（りかんじょう）の城下町。のちに宿場町として発展。格子戸の家々や佐用川の石垣の上に並ぶ土蔵群はとてもノスタルジックです。また、平成17年に佐用郡4町で合併したのを機に、小学校区ごとに地域づくり協議会を設置されています。



伝建地区にこだわらずも守り続けられる町並み

家元 孝さん(出石まちなみ保存会 役員)

たつの市室津は海からも拝める神社、その社殿のすばらしい構造、風待ち港、良い港、出格子、白壁、虫籠窓、しっくい壁を残し、道路には案内石柱がそこかしこに立ち並び、魚の町としても生活できている。

佐用町は町並みに伝統建築有りの姿があちこちに見られ、気もゆったり、やはり古い家屋並びは心落ちつきます。



【室津】国重要文化財の賀茂神社本殿。向かいの拝殿の扉を開けると、拝殿後方の海から本殿が拝める。



【平福】創業は元禄年間、300年以上の歴史を持つ「たつ乃屋醤油本店」。深い歴史を感じさせます。

川見章夫さん(出石まちづくり公社ガイド)

瀬戸内海に面した室津は、海上交通の要衝として重要な役割を果たしてきた面影が、本陣跡、また江戸時代の商家から見る事ができた。

通りに面した民家、商店が歴史的景観地区に合わせた意匠を取り入れて町並みを大切にしている様子が心に残った。

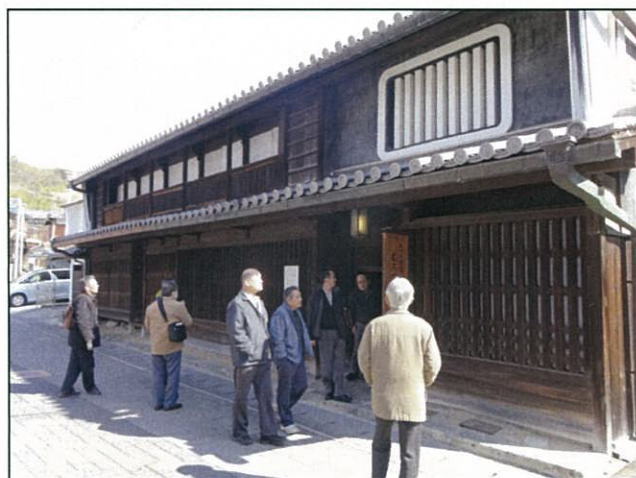
佐用町の平福は利神城(りかんじょう)の城下町から鳥取若桜街道の宿場町として発展してきた町の様子が、川岸の蔵の白壁群を代表として良く残っていた。

しかしながら、室津は伝建地区にしなかったことから新たな地域作りへの模索、平福は町のシンボル「利神城」が危険な状態で整備が必要だが先の見えない状況など、大きな課題を抱えているように感じた。

さて、出石は地域住民の「出石を愛する心(ふるさと・郷土愛)」が深く、国の重要伝建地区になり、町のシンボル「有子山城」「出石城」の整備作業に前向きな動きがある。

しかしながら、例えば室津のように、町の中に、地域の方や町を訪れる方に出石を紹介している施設(国重要伝建地区、有子山城、出石城、城下町、出石焼、出石皿そば、神社仏閣など)、町の各所にある文化的な物、歴史的な物への説明板はあるのかといえ、ないといってもいいのではないだろうか。

参加して、地域住民が楽しみながら、町に誇りをもてるためにも、このような他地域に出かけることの大切さを学んだ。



【室津】室津民俗館。魚屋と号した豪商の建物です。低く深い二階の軒と虫籠窓が重厚さを醸しています。



【平福】山上にわずかに見える利神城跡。かつては三層の天守があり、「雲突城」と呼ばれました。

小坂恵子さん(弘道地区公民館 主事)

平福での昼食場所は雰囲気があって美味しく最高でした。

お世話になりました。



【平福】古物インテリアに囲まれた地元食材の昼食は、最高のおもてなしでした。お昼のおもてなしがよいと、町全体の印象が大きくアップしますね。

福富 一さん(出石まちなみ保存会 会員)

室津、平福の二地区は最も盛えた江戸時代の町並みが保存されていた。

室津は港町、平福は宿場町で町の性格は異なっていた。二地区とも地域住民が中心になって、熱心に“まちづくり”が推進されている点が共通している。

まちづくりには資金と人材が必要だが、室津はたつの市、平福は佐用町。室津の方がまちづくりの好条件が若干整っているように思えた。

佐用町は10年で約1割の人口減少がみられ、

これがまちづくりの上で大きな障害になるかもしれないが、頑張ってもらいたい。

人口減少は全国の市町村で見られる現象だが、豊岡市出石町でも、このことは将来大きな問題になるだろう。



【室津】江戸時代の廻船問屋の豪商宅を活用した、「室津海駅館」。地元有識者による専門委員会が行政と協働で企画・運営を担います。

藤原 石一さん(出石まちなみ保存会 役員)

平福では、歴史の重みを知るとともに昔の人々のご苦労と努力されてきた経緯を知ることが出来ました。今の時代、少子高齢化が進行する中で、地域全体で努力され行動されている様子を伺い、地域力の強さを感じました。

今後、平福地区の長所を出石でも参考にしていきたいものです。



【平福】道の駅「宿場町ひらぶく」の前で記念撮影。買い物中の方が写ってなくて申し訳ありません。。。

室津、平福の両地区の方々、大変お世話になりました。ありがとうございました！

出石まちなみ保存会情報



規約改正により役員充実、活動力アップへ！

出石まちなみ保存会役員会は3月28日、役員を拡充する規約改正を行いました。

役員会の承認を得た場合は、現行の役員以外の会員や、外部の学識経験者等を役員にすることができる、という内容です。

これまでは、各行政区から2名ずつ選出された14名が役員となり保存会の企画、運営を行ってきましたが、1～2年で交代する役員がほとんどであったため、新規の事業や長期的な視点に立った活動を行うことが困難でした。

そこで、規約改正により、中長期に活動できる人材を役員にすることにより、会の活動力を向上させる狙いです。

この規約の変更により魚屋の小畑氏が役員に承認され、引き続き会長に就任されました。

【平成26年度 役員】(敬称略)

役職	氏名	地区
会長	小畑 宏明	魚屋
副会長	中村 英夫	材木
事務局長	木村 孝之	八木
会計	三好 彪夫	本町
理事	松井 謙	材木
"	青山 克治	魚屋
"	澤田 彰	魚屋
"	大林 誠	内町
"	上坂 泰三	八木
"	山科 満明	本町

役職	氏名	地区
理事	武田 将男	宵田
"	藤原 石一	宵田
"	古田 正夫	田結庄
監事	西池 匡	内町
"	家元 孝	田結庄

【決算・予算】

収入の部

(単位：円)

科目	H25 決算額	H26 予算額	摘要
負担金	70,000	70,000	10,000×7地区
特別負担金	22,500	20,000	視察研修負担金
繰越金	126,097	167,199	前年度繰越金
雑収入	32	801	預金利息
合計	218,629	258,000	

支出の部

(単位：円)

科目	H25 決算額	H26 予算額	摘要
会議費	1,800	10,000	役員会費
事業費	44,630	120,000	
事業開催費	6,375	45,000	講演会会場借上
研修費	38,255	60,000	H25は室津、平福
広報費	0	15,000	H25は伝建協負担
旅費	0	100,000	伝建協総会旅費等
事務費	5,000	8,000	コピー代等
予備費	0	20,000	予備費
合計	51,430	258,000	
収支	167,199	±0	

今年度の講演会事業は

「日本民俗建築学会シンポジウム」

本市、出石まちなみ保存会、出石まちなみ設計士会の共催により毎年開催している講演会事業について、今年度は主催事業を行わず、今秋出石で開催される「日本民俗建築学会シンポジウム」への出席に代えることになりました。

本市ゆかりの京都府立大学大場修先生や3月

28日の弘道地区公民館の講演が大好評だった関西大学森隆男先生らが中心となり出石に誘致。これからの出石のまちづくりをテーマに、住民の方にこそ参加いただきたい、という企画です。

いまから是非、参加のご予定を！

11月22日(土)午後、出石永楽館にて